

8-1		主題	活動メニューの充実と即ニーズ対応への取り組み	
要望には出来る限り対応		副題	～ここに来るのが1番の楽しみ!～	
他事業所での研修				
研究期間	12ヶ月	事業所	高齢者在宅サービスセンター武蔵野	
発表者：立川 直樹（たちかわ なおき）		アドバイザー：井上勝（いのうえ まさる）		
共同研究者：松尾左智子				
電話	042-553-6633	メール	sakoda@mokuseikai.or.jp	
FAX	042-553-6686	URL	http://www.mokuseikai.or.jp	

今回発表の事業所やサービスの紹介	高齢者在宅サービスセンター武蔵野は平成8年5月に開設され、通常規模型定員35名の通所介護、福生市委託事業・福生市いきがい活動支援デイサービスを行っている施設です。同法人には特別養護老人ホーム、グループホーム、居宅介護支援事業所、訪問介護事業所が併設されています。私たちは地域に密着したサービスを理念に掲げ、利用者の心を動かし生活の意欲につなげるデイサービスをモットーにしています。
------------------	--

《研究前の状況と課題》○状況●課題

◎利用者・家族の声

○「活動がいつも同じだからつまらない。」
「くだらないゲームだからやらない。」
「やりたいサークルが無い。」
「つまらないから休む。」etc

●活動・レクリエーションのマンネリ化。
やりたいことが利用者ニーズに合わない。
私用・行かない理由の休みが増えた。

○「腰が痛いから、リハビリがしたい。」
「歩けなくなると困るからリハビリがしたい。」
「退院後なので、リハビリを行うように医者から言われた。」「毎回個別に訓練を受けたい。」

●デイサービスで個別機能訓練へのニーズが高い。

○「足が上がらないので、家の風呂には入れない。」
「湯舟にゆっくり浸かりたい。」
「毎回入りたい。」
「失禁が多く毎回入れて欲しい」
「入浴の介護が大変。」等

●チェアー浴への受容がUP。
入浴サービス週2回限定では、清潔が保てない。

《研究の目標と期待する成果》

○目標
サークル活動、レクリエーションの多様化を図る。
要望には、速やかに、できる限り応える。

○期待する成果

- ・やりたいこと、やってみたいことができる。
→楽しみ・意欲・目的意識
⇒行きたくなる。
- ・個別機能訓練が毎回受けられる。
→身体機能を意識・目的意識
⇒休めない。
- ・入浴が何回でもできる。
→安全・清潔・快適・生活の一部
⇒入りたい。

◎利用者の満足度が上がり、利用率もUPする。
職員のモチベーションUP。達成感からスキルもUP。

《具体的な取り組みの内容》

○活動メニューについて

- ・一人でも希望のあるサークルは実施。
- ・毎月15日に「レク会議」を開催。一人一案掲げ、全職員で内容を決定。又、個々の提案は個々で実施。
- ・毎月一つは手作りレク用品の作成。
- ・運営目標に施設見学を提示。全職員が近隣施設への見学を行い、情報を収集。
- ・サービス担当者会議には必ず出席し、利用者及び家族より意向を聞きとり、ミーティングで報告。
- ・活動、レク後には、利用者の反応、声を聞き、ミーティングで報告。
- ・「月刊デイ」「リハレク」本を活用。

○リハビリ、個別機能訓練について

- ・作業療法士、理学療法士、看護師の採用。
- ・併設の特養とリハビリ時間の調整。
- ・健康体操、リハビリ体操の実施。

○入浴サービスについて

- ・入浴の希望回数に対応。・チェアー浴連日対応。
- ・AM：PM入浴対応。・入浴介助者の確保。

○その他

- ・利用者等からの愚痴・苦情には、当日帰宅迄に対応。
- ・要望には、できる限り対応。
できる事：35名枠内での急な振替・増回・臨時利用・入浴・8時間以内の延長。送迎時間の変更等。
できない事：席の指定、35名以上枠の予定外利用、10名を超える際のリハビリ希望、8時間を超える利用希望等
- ・「入浴」「個別機能訓練」のPR
- ・西多摩ブロック会参加にて、地域の情報収集、他施設相談員との交流、情報交換ができた。

《取り組みの結果と評価》

○活動メニュー

- ・将棋サークルを新たにつくった。人気のあるサークルは回数を増やした。
⇒利用者が意欲を保持しながら参加できた。
- ・地域行事に参加した。(市民文化祭、演芸鑑賞等)
⇒地域住民と交流が図れた。デイサービスでは見たことがない表情を発見した。

○リハビリ・個別機能訓練の実績

利用者数

平成21年4月	延人数 110名
平成22年4月	延人数 167名(52%↑)

- ・「デイサービスで訓練ができる。」と好評。
- ・リハビリ希望の新規利用者が増えた。
- ・療法士の指導を受け、職員のリハビリ視点が向上した。

○入浴サービスの実績

平成21年4月	延人数 332名
平成22年4月	延人数 374名(13%↑)

- ・あざ、湿疹等の早期発見、失禁の早期発見ができた。

○その他

利用率

平成20年度	86%
平成21年度	90%(4%↑)

- ・増回・振替利用が浸透し、欠席が減少した。

《まとめ》

利用者のニーズに出来るだけ応える取組みを行った結果、利用者の表情や会話に「自分らしさ」が多く見られるようになった。介護職員にとっては利用者についての理解が深まっている。今後、利用者にとっての「自分らしい生活」の支援を進めていきたい。

《提案と発信》

今回の取り組みで一番影響を受けたことは、西多摩ブロック会での交流でした。この交流・情報交換によって、近隣施設への見学も実現できました。それぞれの課題をもって職員が交替で各施設に訪問し、目で見、耳で聞き、心で感じたことをサービスに活かしてきました。他事業所での研修は、職員がデイサービスの介護の役割を改めて考えなおす機会になっています。今後も、地域の事業所間との交流をさらに深めていければと考えています。

【メモ欄】追加資料 無